

事業番号	09 04 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	園芸総合対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	
		実施期間	H17～	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	




### 1 現状と課題

長野県の園芸作物（果樹、野菜、花き、きのこ）は、県農産物総生産の約77%、(2,483億円/県全体3,244億円 令和2年農水省推計)を占める主要部門であり、レタス、りんご、カーネーション、えのきたけなど全国シェア上位品目をはじめ、質の高い多様な品目・品種がバランスよく生産されている。一方、生産者の減少や高齢化による生産構造の脆弱化の進行、連作障害の発生や不順天候の影響による作柄の不安定化、資材高騰等による生産コストの増加が課題となっている。

### 2 事業目的

県内で育成されたオリジナル品種や販売力の高い品目・品種の導入・拡大、スマート農業技術・環境にやさしい栽培体系の導入推進、規模拡大や生産効率化のための農業機械や集出荷施設等の整備により、競争力が高く、気候変動にも対応できる強靱な園芸産地を実現する。

### 3 事業目的を達成するための取組

<p><b>①果樹の早期多収・省力栽培の導入推進及び県オリジナル果樹品種の生産振興</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・りんご・ぶどうの多収・省力化栽培技術導入に向けた研修会の開催</li> <li>・県オリジナル品種の生産拡大に向け技術習得や経営改善を支援</li> <li>・苗木生産や出荷の効率化を図る機械・施設の導入支援</li> </ul> <p><b>②新鮮で高品質な花きを安定供給するための生産・流通技術の導入推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要花きにおける需要期安定出荷栽培技術の導入に向けた現地実証や技術習得の支援</li> <li>・主要花きや新規品目の生産性向上に向けた技術研修会の開催</li> </ul> <p><b>③施設果菜類等における増収技術や露地野菜における環境にやさしい栽培技術の普及推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高品質で安定的な野菜産地構築のためのモデルほ場設置、新技術・新品種の導入支援</li> <li>・環境モニタリング装置やアシストスーツの貸し出しによる施設園芸スマート農業技術の普及推進</li> <li>・【拡】使用済プラスチック削減や減肥・減農薬に資する技術の現場実証を支援</li> </ul>	 <p>りんご高密度植栽培</p>  <p>省エネ機器（ヒートポンプ）の検証</p>  <p>トマト養液栽培</p>
---	--

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	ぶどう産出額	億円	402	418	↗	422	↗	427	△	第4期長野県食と農業農村振興計画における、ぶどうの産出額（令和5年度：427億円→令和9年度：453億円）の初年度である令和5年度は427億円を目標とする。	
②	主要花き産出額	億円	43	—	—	47	↗	48	△	第4期長野県食と農業農村振興計画（答申書）における生産目標（令和5年度：48億円→令和9年度：49億円）の初年度である令和5年度は48億円を目標とする。	
③	施設果菜類等の増収技術導入面積	ha	—	238	—	240	↗	245	△	第4期長野県食と農業農村振興計画（答申書）における達成指標（令和5年度：245ha→令和9年度：273ha）の初年度である令和5年度は245haを目標とする。	

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（指標名）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	農業農村総生産額	億円	2018 (H30)	3,528	2019 (R1)	3,459	2020 (R2)	3,579	2027 (R9)	3,700
2-1②	稼ぐ力とブランド力の向上	果実産出額	億円	2018 (H30)	714	2019 (R1)	743	2020 (R2)	894	2027 (R9)	945

### 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)	1,868,536		1,868,536	52,950	△	3.1
	(要求)	2,089,307		2,089,307	52,950		
R4年度	1,039,997	1,424,235	△ 213,283	2,250,949	55,028	△	3.1
R3年度	128,007	1,579,334	△ 254,767	1,452,574	53,618	388,380	3.1
予算要求からの 主な変更点	園芸産地強化対策整備事業の一部について、国の補正予算を活用して、2月補正予算に前倒し実施すること等により、事業費を減額						

事業番号	09 04 01	<b>細事業一覧（令和5年度実施事業分）</b>	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	<b>園芸総合対策事業</b>		部局	農政部	課・室	園芸畜産課

細事業No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
1	<b>信州農業生産力強化対策事業</b>	52,013 千円	52,078 千円	(予算案) 50,000 (要求) 50,000 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法 令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	信州農業生産力強化対策事業	補助金	長野県農業の多様な生産力を図るため、新たな技術の現地への普及やマーケットニーズに対応した産地の育成に必要な機械・施設等の導入等を支援 実施団体数：33団体		

細事業No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
2	<b>皆で取り組む園芸振興事業</b>	3,105 千円	2,950 千円	(予算案) 2,950 (要求) 2,950 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法 令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	果樹の多収・省力栽培の導入推進及び県オリジナル品種の生産振興	補助金	果樹生産者の稼ぐ力の向上に向け、りんご高密度植栽培推進研修会の実施やぶどう「クイーンルージュ®」の普及拡大に向けたモデル園の設置等により栽培技術の平準化を推進。 研修会・検討会の開催：10回		
2	新鮮で高品質な花きを安定供給するための生産・流通技術の導入	補助金	カーネーション、トルコギキョウ等、主要切り花の需要期出荷量・品質等の向上に向けた実証ほの設置、検討会等による技術導入の支援。 実証ほの設置：15カ所		
3	グリーン栽培及び需要期出荷化等マーケットニーズに応じた野菜生産の推進	補助金	露地野菜へのグリーン栽培や、施設果菜類におけるスマート園芸技術の普及に向けた実証ほ設置、検討会開催等による新技術習得の支援。 研修会・検討会の開催：10回		

細事業No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
3	<b>園芸産地強化対策整備事業</b>	1,524,027 千円	1,364,839 千円	(予算案) 1,803,546 (要求) 2,024,317 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法 令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	園芸作物産地基幹施設等の整備	補助金	生産・流通コストの低減や高品質で付加価値の高い生産・供給体制の確立等を図るため、野菜・果樹・花き集出荷施設の整備等を支援 実施地区数：9地区		

細事業No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
4	<b>スマート園芸普及加速化事業</b>	189 千円	440 千円	(予算案) 1,040 (要求) 1,040 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法 令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	スマート園芸技術の普及・取組支援	直接	スマート施設園芸技術の導入推進のため、環境モニタリング装置（みどりクラウド）の貸し出しや、スマート園芸セミナー・ワークショップを開催 みどりクラウド貸出数：5カ所		

細事業No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
5	<b>グリーン園芸転換推進事業</b>	— 千円	3,928 千円	(予算案) 11,000 (要求) 11,000 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法 令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	環境にやさしい栽培技術の現地検証	補助金	【拡】環境にやさしい栽培技術（グリーン栽培）の推進のため、使用済プラスチック削減や減肥・減農薬に資する技術の現場実証を支援 実証カ所数：3カ所		